

令和 7年度

事務事業評価表 ( 令和 6年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		総合計画進行管理事業					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	060301000249
		総合計画の施策名					単独/補助	単独	所属課	010201
政策体系	政策名	0603	時代に合った自治体運営					課長名	企画課	
	政策名	06	みんなで築く自治のまちづくり					グループ	企画グループ	
	施策名	03	時代に合った自治体運営					担当者名		
	手段名	01	①計画的な行政運営							
		財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	02	01	08	01	00	企画事業			
法令根拠							単年度繰返し (平成19年度~)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 市のまちづくりの長期的な指針であり戦略的な計画である桜川市第2次総合計画に基づく様々な取組や事業を実施する際には、行政評価の考え方や手法により、PDCAサイクルのもと着実な行政運営を実施することとしている。 このため、計画に位置付けられた政策・施策を達成するための事務事業の進行管理を行い、適正な行政運営に役立てていく。 具体的には、施策マネジメント会議、施策(貢献度、優先度)評価、事務事業(貢献度、優先度)評価、年度ごとの運営方針の策定等を実施する。 令和4年度から桜川市第2次総合計画後期基本計画が始まっている。  ◇分野別基本計画主要事業(施策) → 31施策
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・行政経営会議(企画課、総務課、財政課、職員課) ・施策評価会議、施策評価報告会議、施策優先度評価会議、事務事業貢献度、優先度評価会議(総務課と連携) ・市長ヒアリング ・桜川市総合計画実施計画策定

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・行政経営会議(企画課、総務課、財政課、職員課) ・施策評価会議、施策評価報告会議、施策優先度評価会議、事務事業貢献度、優先度評価会議(総務課と連携) ・市長ヒアリング ・桜川市総合計画実施計画策定	実施計画書の作成・ヒアリング実施	件	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	(施策マネジメント会議・施策評価会議)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
施策	施策数	件	31.00	31.00	31.00	31.00	31.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
総合計画を計画的に展開し、行政課題を解決する。	実施計画書に基づき事業実施されている事業数	件	831.00	830.00	830.00	830.00	830.00
	完了(継続実施を含む)した事業数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	成果指標が目標値を達成できた施策の割合	%	44.64	33.04	80.00	80.00	80.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費	財源内訳	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定 総投入量
		国庫支出金	千円	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0		
		使用料・手数料	千円	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0		
		一般財源	千円	0	7,917			
		事業費計(A)	千円	0	7,917			
		正規職員従事人数	人	4.00人	4.00人	4.00人		

06年度事業費 実績(千円)				07年度事業費 予算(千円)			
				01 報酬	207		
				08 旅費	9		
				10 需用費	12		
				12 委託料	7,689		
				合計	0	合計	7,917

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	・行政経営会議の開催 ・桜川市総合計画実施計画策定 ・桜川市第3次総合計画策定業務	・行政経営会議の開催 ・桜川市総合計画実施計画策定 ・桜川市第3次総合計画策定	・行政経営会議の開催 ・桜川市総合計画実施計画策定

事務事業名	総合計画進行管理事業	事務事業No.	60301000249	所属課	企画課
<p>(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？          住民のニーズが高度で多種多様なものとなり、地方自治体はさまざまな課題解決のために自ら考え行動していくことが求められている。併せて、長引く景気低迷による厳しい財政状況への対応や、情報開示、説明責任など、市民に信頼される透明性の高い行政運営が求められている。</p>					
<p>(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？          意見や要望はない。</p>					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	<p>①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 結びついている</p> <p>総合計画は市の最上位計画であり、当計画を適正に実施することによって課題解決が図られるため、進行管理を行いながら行政運営を行うことが必要である。</p>
	<p>②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 妥当である</p> <p>市の公共課題を解決するために策定された総合計画を計画的に実施するための事務であり、公共関与は妥当である。</p>
	<p>③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある</p> <p>進行管理やスケジュールを見直すことで、さらに効率的で実効性のある行政運営が可能となると思われる。</p>
有効性	<p>④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 影響有</p> <p>廃止・休止した場合、各施策・事業の全体調整が図られず、効果的な行政運営への影響が懸念される。</p>
	<p>⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む))          (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 余地がない</p> <p>特になし。</p>
効率性	<p>⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない</p> <p>最小限の人件費で事業を実施しており、削減の余地はない。</p>
公平性	<p>⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である</p> <p>特定の受益者はいない。</p>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
<p>①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>行政評価一実施計画一予算編成の連動を図っているが、より効果的な連携を図る必要がある。</p>																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<p><input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止</p> <p>(複数回答可)</p> <p><input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善</p> <p><input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								
<p>事務事業評価について、職員の時間的拘束が大きかったことから、対面式での評価会議から各施策担当者の話し合いによる評価に変更したが、評価自体が作業的になってしまい、事業の改善・見直しにうまく反映できていない。事務事業評価のやり方を見直したり、研修による意識づけを行うなど、改善が必要である。</p>																								
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果																						
		①																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
<p>課長確認後の評価</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止</p> <p>B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出</p>	<p>確認欄</p> <p><input type="checkbox"/></p>